

令和4年4月5日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

バッテリー（リチウムイオン、電動リール用）、携帯型電気冷温庫、電気ストーブ（カーボンヒーター）に関する事故（リコール対象製品）について
（詳細は次頁以降参照。）

1. ガス機器・石油機器に関する事故
該当案件なし
2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故 11 件
（うち電気ストーブ（カーボンヒーター）2件、
照明器具（投光器、充電式）2件、
バッテリー（リチウムイオン、電動リール用）2件、液晶テレビ2件、
携帯型電気冷温庫1件、ビデオデッキ1件、照明器具（充電式）1件）
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故 7 件
（うち電気あんか1件、ノートパソコン1件、高圧洗浄機1件、
電気温風機1件、冷風機1件、折りたたみ電動アシスト自転車1件、
電子レンジ1件）
4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議において、審議を予定している案件
該当案件なし

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません（管理番号：A201901006、A202000812、A202000965、A202100030、A202100087、A202100146、A202100244、A202100450、A202100452を除く。）。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) グローブライド株式会社が輸入したバッテリー（リチウムイオン、電動リール用）について（管理番号：A202100030、A202100244）

①事象について

グローブライド株式会社（法人番号：5012701003630）が輸入したバッテリー（リチウムイオン、電動リール用）及び周辺を焼損する火災が発生しました。

調査の結果、当該製品は、製造上の不具合により、製品内部に海水の浸入及び基板上でトラッキング現象が生じて、リチウムイオン電池セルが外部短絡し、異常発熱して出火したもの等と推定されます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2019 年（平成 31 年）3 月 4 日にウェブサイトへ情報掲載し、対象製品について無償製品交換を実施していましたが、リコール対象外ロット品でも火災事故が起き、製造上の不具合が確認されたことから、リコールの対象範囲を全ロットに拡大することとし、2021 年（令和 3 年）11 月 1 日に再リコールをウェブサイトへ情報掲載し、対象製品（既にリコール交換対応済み製品を含む。）について、回収及び返金を実施しています。

③対象製品：製品名、型番、カラー、J A Nコード、製造時期、対象台数

製品名	型番	カラー	J A Nコード	製造時期	対象台数
スーパー リチウム	BM2600C (充電器付)	Mブラック	4960652073394	2015年6月 ～ 2019年6月	25,196 (販売終了)
		マゼンタ	4960652073417		
	BM2600N (充電器なし)	Mブラック	4960652073400		
		マゼンタ	4960652073424		

2019 年（平成 31 年）3 月 4 日からリコール（無償製品交換）を実施

2021 年（令和 3 年）11 月 1 日から既にリコール交換対応済み製品を含む全ロットに拡大しての再リコール（回収・返金）を実施

回収率：24.0%（2022 年 2 月 28 日時点）（再リコール）

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による 2015 年度以降の事故（原因調査中及び管理番号：A202100030、A202100244 を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2021年度	2	火災	2017年度	0	—
2020年度	0	—	2016年度	0	—
2019年度	0	—	2015年度	0	—
2018年度	1	火災			

＜対象製品の外観＞



BM2600C/N
(M ブラック)

BM2600C/N
(マゼンダ)

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、まだ事業者の行う回収及び返金を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、保管中はバッテリーの充電はしないでください。

【問合せ先】

グローブライド株式会社 BM2600 回収窓口

電 話 番 号：0120(302)048

受 付 時 間：9時～17時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：

https://www.daiwa.com/jp/fishing/news/important/1258239_4164.html

※Web 専用窓口からお申し込みいただけます

https://input-form.jp/modules/daiwa_bm2600/chk.html

(2) 株式会社ノジマが輸入した携帯型電気冷温庫について(管理番号:A202100146)

①事象について

株式会社ノジマ(法人番号:4021001013588)が輸入した携帯型電気冷温庫を焼損する火災が発生しました。

調査の結果、当該製品は、基板の銅箔パターン間で絶縁破壊が生じて焼損したものと推定されますが、基板及び銅箔パターンの一部が焼失していることから、絶縁破壊が生じた原因の特定には至りませんでした。

②当該製品のリコール(無償交換)について

同社は、当該製品を含む対象製品(下記③)について、一部の製品で、スイッチ部分の基板から発火するおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2021年(令和3年)10月7日に購入者に対しダイレクトメールを送付するとともに、同年10月11日付け及び12月3日付けでウェブサイト情報を掲載し、対策済品との無償交換を実施しています。

③対象製品:製品名、型番、製造番号、販売期間、対象台数

製品名	型番	製造番号	販売期間	対象台数
ELSONIC製 コンパクト冷温庫	ECFCB12	F20	2018年8月9日	1,557
		I20	～	
		F21	2021年8月8日	

2021年(令和3年)10月7日からリコール(無償交換)を実施

回収率:52.0%(2022年1月31日時点)

<リコール対象製品での事故件数>

対象製品におけるリコール対象の内容による2018年度以降の事故(原因調査中を含む。)の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2021年度	1	火災	2019年度	0	—
2020年度	0	—	2018年度	0	—

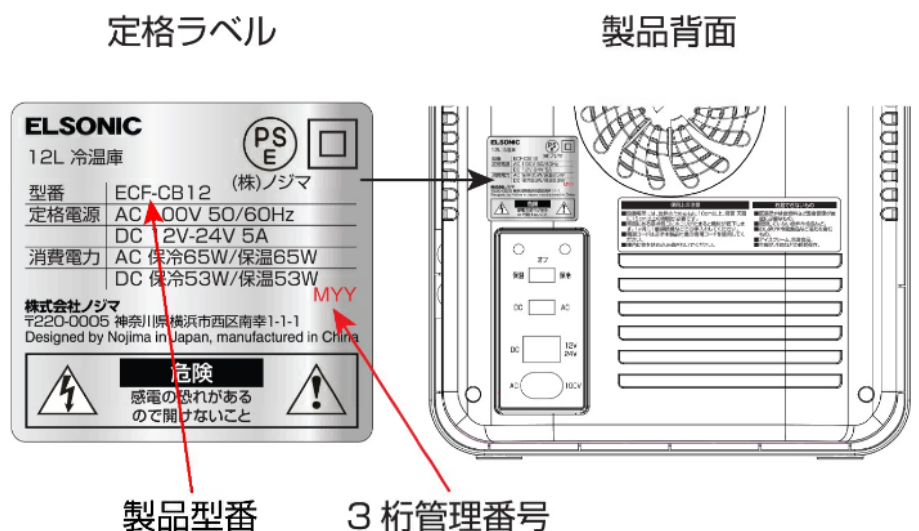
※当該事故(管理番号:A202100146)は含まない。

<対象製品の外観>



<製造番号の確認方法>

製品背面の定格ラベル中にある「3桁管理番号」をご確認ください。



④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、まだ事業者の行う無償交換を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

【問合せ先】

株式会社ノジマ

電話番号：0120(922)201

受付時間：10時～18時

ウェブサイト：[https://www.nojima.co.jp/wp-](https://www.nojima.co.jp/wp-content/uploads/2021/10/4400e7fbd762b5b2f802e56bbe1bb7ec.pdf)

[content/uploads/2021/10/4400e7fbd762b5b2f802e56bbe1bb7ec.pdf](https://www.nojima.co.jp/wp-content/uploads/2021/10/4400e7fbd762b5b2f802e56bbe1bb7ec.pdf)

(3) ゼネラルエアコン株式会社（現 株式会社デンソーエアクール）が製造し、株式会社デンソーが販売した電気ストーブ（カーボンヒーター）について（管理番号：A202200002）

①事象について

ゼネラルエアコン株式会社（現 株式会社デンソーエアクール（法人番号：2100001015175））が製造し、株式会社デンソーが販売した電気ストーブ（カーボンヒーター）を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（回収・返金）について

販売事業者である株式会社デンソーは、当該製品を含む対象製品（下記③）について、ヒーター電流制御用部品（トライアック）の絶縁体におけるはんだが剥がれ、放熱不良となって温度が上昇することで、発煙・発火のおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、2007年（平成19年）3月28日にウェブサイトへ情報掲載するとともに、2009年（平成21年）10月に新聞折込チラシを配布し、対象製品について、回収及び返金を実施しています。

なお、今般報告のあった当該製品（管理番号：A202200002）の事故の原因が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③対象製品：製品名、機種、品番、台数、販売期間

製品名：株式会社デンソー 電気ストーブ（遠赤外線ヒーター） E N S E K I
（エンセキ）

機種	品番	台数	販売期間
12F	479000-2080 479000-2081 479000-0280 479000-2040	30,400	1982年9月～1988年1月 ※2007年3月28日より製品回収を実施
12FD	479000-2090 479000-2091 479000-0290 479000-2050		

2007年（平成19年）3月28日からリコール（回収・返金）を実施
回収率 21.8%（2022年3月31日時点）

＜リコール対象製品での事故件数＞

対象製品におけるリコール対象の内容による 2010 年度以降の事故（原因調査中を含む。）の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第 35 条第 1 項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2021年度	0	—	2015年度	0	—
2020年度	0	—	2014年度	0	—
2019年度	0	—	2013年度	0	—
2018年度	0	—	2012年度	0	—
2017年度	0	—	2011年度	0	—
2016年度	0	—	2010年度	1	火災

※当該事故（管理番号：A202200002）は含まない。

＜対象製品の外観＞

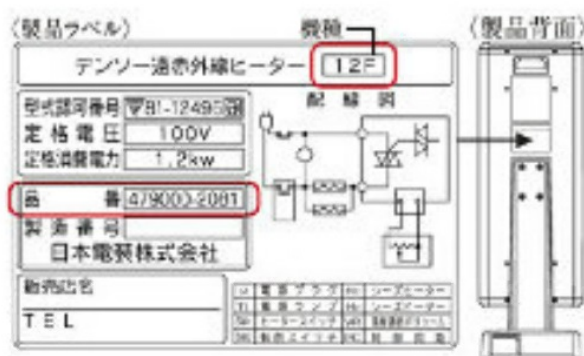


12F 及び 12FD 金属スタンド



12F 及び 12FD 樹脂スタンド

＜対象製品の確認方法＞



当該製品の裏面に表示されている機種及び品番を御確認ください。

④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う回収及び返金を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先までご連絡ください。

【問合せ先】

株式会社デンソー エンセキ回収受付センター

電 話 番 号 : 0120(181)103

受 付 時 間 : 9時~18時(土・日・祝日・事業者指定休日を除く。)

ウェブサイト : <https://www.denso.com/jp/ja/important-notice/2021/20191201-51/>

【本発表資料の問合せ先】

消費者庁消費者安全課(製品事故情報担当)

担 当 : 加藤、鈴木、笹島

電 話 : 03(3507)9204(直通)

F A X : 03(3507)9290

経済産業省産業保安グループ製品安全課製品事故対策室

担 当 : 関根、門田

電 話 : 03(3501)1707(直通)

F A X : 03(3501)2805

■消費生活用製品の重大製品事故一覧

別 紙

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)
該当案件なし

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A201901006	令和元年11月20日	令和2年1月14日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	YA-C94WR(BK)	ユアサプライムス株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を使用中、当該製品内部を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品のサーモスタット電源側と電源線との接続部に不具合があったため、接触不良が生じて異常発熱し、出火に至ったものと推定される。	鳥取県	令和2年1月17日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202000812	令和2年12月12日	令和3年1月26日	照明器具(投光器、充電式)	なし	株式会社SEED PRODUCTS (輸入事業者)	火災	学校で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、本体に過充電保護機能を有していなかったため、内部のリチウムイオン電池セルが過充電状態となって異常発熱し、出火に至ったものと推定される。	大阪府	令和3年1月29日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202000965	令和3年2月14日	令和3年3月17日	照明器具(投光器、充電式)	なし	株式会社SEED PRODUCTS (輸入事業者)	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、本体に過充電保護機能を有していなかったため、出力電圧の高い異なる製品のACアダプターを接続した際に、当該製品の電池セルが過充電状態となって異常発熱し、出火に至ったものと推定される。	宮城県	令和3年3月19日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A202100030	令和3年4月2日	令和3年4月13日	バッテリー(リチウムイオン、電動リール用)	BM2600C	グローブライド株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、製造上の不具合により、製品内部に海水の浸入及び基板上でトラッキング現象が生じて、リチウムイオン電池セルが外部短絡し、異常発熱して出火したものと推定される。	大阪府	令和3年4月16日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの 令和3年11月1日からリコールを実施 (特記事項を参照) 回収率: 24.0%
A202100087	令和3年4月21日	令和3年4月30日	液晶テレビ	LC-16E5	シャープ株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品のプラグ部を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、ACアダプターのDCプラグ樹脂の絶縁性能が低下し、異常発熱が生じて焼損したものと推定されるが、異常発熱が生じた原因の特定には至らなかった。	滋賀県	令和3年5月7日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日都道府県	備考
A202100146	令和3年5月3日	令和3年5月26日	携帯型電気冷温庫	ECF-CB12	株式会社ノジマ (輸入事業者)	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、基板の銅箔パターン間で絶縁破壊が生じて焼損したものと推定されるが、基板及び銅箔パターンの一部が焼失していることから、絶縁破壊が生じた原因の特定には至らなかった。	神奈川県	令和3年5月28日に ガス機器・石油機器 以外の製品に関する 事故であって、製品 起因か否かが特定 できていない事故 として公表していた もの 令和3年10月7日か らリコールを実施 (特記事項を参照) 回収率: 52.0%
A202100244	令和3年7月1日	令和3年7月6日	バッテリー(リチウムイオン、電動リール用)	BM2600C	グローブライド株式会社 (輸入事業者)	火災	異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。 調査の結果、当該製品は、電動リールに直接接続される樹脂製コネクタの強度が不足していたため、使用中に加わる外力により、コネクタに亀裂が生じて内部に海水が浸入し、内部のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火に至ったものと推定される。	愛知県	令和3年7月9日にガ ス機器・石油機器 以外の製品に関する 事故であって、製品 起因か否かが特定 できていない事故 として公表していた もの 令和3年11月1日か らリコールを実施 (特記事項を参照) 回収率: 24.0%
A202100450	令和3年8月30日	令和3年9月14日	液晶テレビ	LC-60G7	シャープ株式会社	火災	当該製品を汚損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、電源回路の一次側にあるセラミックコンデンサに不具合品が混入したため、内部短絡が生じて破損し、発煙したものと推定される。	兵庫県	令和3年9月17日に ガス機器・石油機器 以外の製品に関する 事故であって、製品 起因か否かが特定 できていない事故 として公表していた もの
A202100452	令和3年8月27日	令和3年9月14日	ビデオデッキ	VC-F430	シャープ株式会社	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。 調査の結果、当該製品は、長期使用(約30年)により、電源基板が絶縁劣化したため、電源基板に異常電流が流れて異常発熱し、出火したものと推定される。	福井県	令和3年9月17日に ガス機器・石油機器 以外の製品に関する 事故であって、製品 起因か否かが特定 できていない事故 として公表していた もの

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故(続き)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202200001	令和3年8月9日	令和4年4月1日	照明器具(充電式)	3300008	電気産業株式会社 (輸入事業者)	火災	当該製品を他社製のACアダプターに接続して充電中、異音がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。	京都府	令和3年9月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済 事業者が重大製品事故として認識したのは令和3年8月10日 報告書の提出期限を超過していることから、事業者に対して厳重注意
A202200002	令和4年2月25日	令和4年4月1日	電気ストーブ(カーボンヒーター)	12FD(株式会社デンソーブランド)	ゼネラルエアコン株式会社(現 株式会社デンソーエアークル) (株式会社デンソーブランド)	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	京都府	製造から30年以上経過した製品 事業者が重大製品事故として認識したのは令和4年3月22日 平成19年3月28日からリコールを実施(特記事項を参照) 回収率:21.8%

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A202100985	令和4年3月9日	令和4年3月31日	電気あんか	重傷1名	当該製品を使用中、右足に低温火傷を負った。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	大阪府	
A202100986	令和4年3月6日	令和4年3月31日	ノートパソコン	火災	車両内で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	大阪府	
A202100987	令和4年3月27日	令和4年3月31日	高圧洗浄機	火災	宿泊施設で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A202100988	令和4年2月12日	令和4年3月31日	電気温風機	火災 軽傷1名	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が火傷を負った。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が重大製品事故として認識したのは令和4年3月24日
A202200003	令和4年3月4日	令和4年4月1日	冷風機	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	北海道	事業者が重大製品事故として認識したのは令和4年3月29日
A202200004	令和3年9月15日	令和4年4月1日	折りたたみ電動アシスト自転車	重傷1名	当該製品で走行中、転倒し、右手首を負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	長野県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和4年3月22日
A202200005	令和4年3月18日	令和4年4月1日	電子レンジ	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	令和4年3月31日に消費者安全法の重大事故等として公表済

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件なし

電気ストーブ（カーボンヒーター）（管理番号:A201901006）



液晶テレビ（管理番号:A202100087）



液晶テレビ（管理番号:A202100450）



照明器具（充電式）（管理番号:A202200001）

